

5.5.17
五石 紙

浪人会の趣意

妹女の労働争議に對し私達は始終穩健として
 而も中正なる行動を採りて來りて來りた。
 然るに波貝本家に誠意は亦之に長慮に全くと理斷
 亦之に何程にも私達に高壓手段を以て報いた
 鬼と由り月條に負ふ争議は昨今を看んて全象
 就其素の宣言を亦す是れ所謂波貝の如く亦多きに不
 是れ一息一息と一息一息と自分を見顧みれば私達の首
 は切れた。

私達は自分が生きとしるべき道を考へねばならぬと
 同時に飽達初志の母貝徹に努めねばならぬと思つて可
 況亦て今度の争議で餅産されば浪人の大團結を
 あり力ある運動を亦すべし浪人会を組織したの
 ぞありす。

大正拾年八月拾

